防災情報

台風第19号
関連

令和元年１０月１８日
国土交通省東北地方整備局

# 台風１９号による被害と対応の状況について
## （１７時３０分時点）

１０月１３日から東北地方を襲った台風１９号による東北地方整備局管内の被害状況と復旧の初動対応等についてお知らせします。

１．東北地方整備局の体制
令和元年１０月１２日（金）１６時３０分に「非常体制」に入りました。

２．インフラの被害状況と復旧等の見通し（東北地方全体）
＜河川＞　河川は、直轄河川で 17 箇所、補助河川で 85 箇所の越水又は溢水氾濫が判明したため、浸水した水を東北地整所管の排水ポンプ車の他、他地整からの広域支援による排水ポンプ車を加え強制排水を実施しています。
　また、直轄河川で堤防が被災【決壊 2 箇所、法崩れ 4 箇所（10/18_1 箇所増）】したため、ただちに緊急復旧工事に着手しておりましたが、決壊した 2 箇所の仮堤防盛土が 10 月 18 日に完了しました。引き続き残っている工事の早期完了に向けて鋭意進めています。（別紙１～２参照）

＜直轄国道（無料高速を含む）＞６路線２８箇所で土砂崩落や路面冠水等により通行止めを実施しました。このうち、３路線２３箇所は１８日までに応急復旧を完了して、全面通行止めを解除しております。残る３路線５箇所の状況については、別紙３をご参照下さい。

３．地域支援の状況
（１）リエゾンによる地域支援活動の状況
・東北地方で被災した青森県をはじめ５県・３５市町村に、これまで東北地方整備局の職員２８３名を派遣しました（１０月１３日派遣からの累計）。
　１０月１８日現在、３県１６市町村に２９名のリエゾンを派遣し、自治体のニーズ把握に努めています。

・本日は、路面清掃、週末の雨への対応について支援要請がありました。引き続きニーズを把握し、被災地に寄り添った支援を行ってまいります。

（２）テック・フォース（緊急災害対策派遣隊，TEC-FORCE）の活動状況
・東北地方整備局のほか、北海道開発局、中部地方整備局及び中国地方整備局からの広域派遣を合わせて、４４班１６８名の隊員を３県２６市町村に派遣し、河

川、道路等の被災状況調査や排水ポンプ車８７台、照明車３１台などの災害対策車両を各地で稼働させるなど、復旧活動を継続して行っています。
・１０月１８日で福島県須賀川市及び本宮市の被災状況調査が完了する見込みとなりましたので、明日１０月１９日（土）に須賀川市長及び本宮市長に最終報告します。（別紙４参照）

・本日、角田市の排水活動が終了したことから、角田市に対して排水完了報告を行いました。これにより、阿武隈川の全域にわたって概ね浸水解消となります。
　吉田川については、引き続き全力を挙げて排水の促進に努めてまいります。
（別紙５参照）

・北海道開発局から路面清掃車３１台に加え、散水車（給水機能付）５台が広域派遣。浸水が解消した地域等の道路清掃作業を進めて参ります。

・本日、宮城県丸森町の国道３４９号（宮城県管理）を道路法第４８条の重要物流道路等の管理の特例に基づき、被災箇所の道路啓開を実施しています。
これは、重要物流道路制度創設後、全国初の取り組みとなります。（別紙６参照）

・また、宮城県丸森町で発生した土砂崩れに関して、宮城県の要請により、土砂崩れに対する対応についての技術的助言を行うため、１０月１７日から土砂災害専門家（TEC-FORCE 高度技術指導班）を派遣しています。（別紙７参照）

（３）防災ヘリコプターによる調査（１０月１９日）
・明日の予定はありません

（４）その他
・本日、本省都市局、東北地方整備局が連携し、宮城県大崎市において、堆積土砂排除事業等の活用に係る、堆積状況調査及び事業活用に向けた技術的支援を実施しました。（別紙８参照）

４．今後の予定
　今後の主な活動予定は次の通りです。
　① 道路通行規制箇所の復旧作業の継続、道路清掃作業の継続
　② 強制排水作業と被災堤防の緊急復旧工事の継続（各地域、24 時間体制）
　③ 河川、道路等の被災状況調査の継続

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

| 問い合わせ先 |
| --- |
| 広報広聴対策官　辻（つじ）　淳一（内線２１１７） |
| 環境調整官　武藤（むとう）　徹（内線３１１４） |
| 課長補佐　重茂（おもえ）　和志（内線２３５６） |
| 建設専門官　松本（まつもと）　章（内線３１５３） |
| 電話　０２２－２２５－２１７１（代表） |

別添資料１

# 令和元年度　台風19号　災害対策用機械　派遣状況（排水ポンプ車）　10/18　17:00　現在

〇鳴瀬川水系渋井川
・大崎市　完了済

〇鳴瀬川水系渋井川
・大崎市　完了済

〇内水排除
・柴田町　完了済

〇阿武隈川水系
・国見町　完了済
・伊達市　完了済
・福島市　完了済
・二本松市　完了済
・本宮市　完了済
・郡山市　完了済
・須賀川市　完了済
・玉川村　完了済

〇北上川水系荒川
・栗原市　1台排水作業

〇北上川水系富士川
・石巻市　3台排水作業

〇内水排除
・石巻市　完了済

〇鳴瀬川水系吉田川
・大崎市　12台排水作業
・松島町　10台排水作業

〇鳴瀬川水系吉田川
・大崎市　2台排水作業
・大和町　完了済

〇阿武隈川水系
・角田市　3台排水完了

〇阿武隈川水系
・角田市　4台排水完了

〇阿武隈川水系
・丸森町　完了済

〇宇多川水系
・相馬市　3台排水作業

〇阿武隈川水系
・須賀川市　完了済
・郡山市　完了済
・鏡石町　完了済
・玉川村　完了済

岩手県
宮城県
山形県
福島県
栃木県

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を経て、同時発行の50万分の1地方図及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用した。
（承認番号　平29情使　第1384号）

## １８日の排水ポンプ車活動計画台数　８７台

## （うち、広域派遣　４５台）

凡例

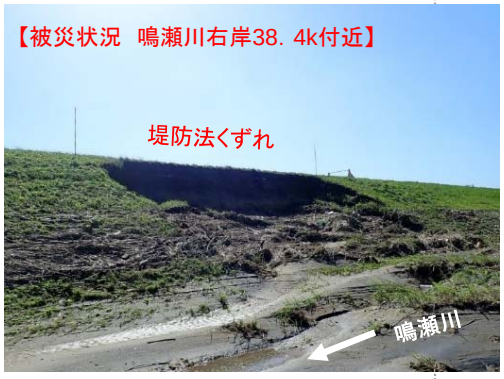
- 排水作業中
- 本日完了
- 完了済
- 直轄派遣車両 ※東北地方整備局所有
- 広域派遣車両 ※北海道開発局TEC-FORCE所有 中部地方整備局TEC-FORCE所有 中国地方整備局TEC-FORCE所有

別添資料２

# 令和元年10月12日出水（台風第19号）における緊急復旧実施箇所

2019年10月18日（金）17時00分現在

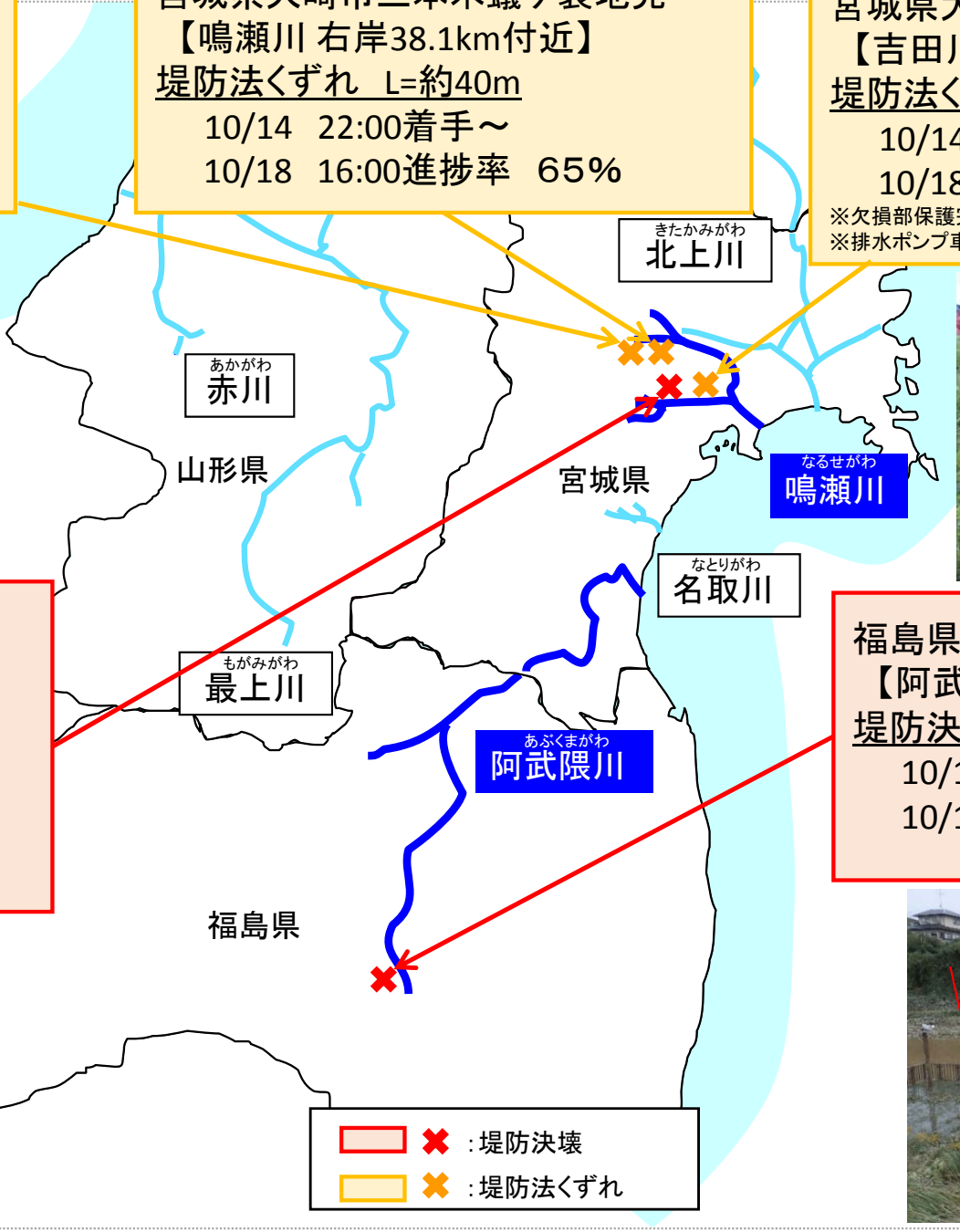
## 宮城県大崎市三本木廻山地先
【鳴瀬川 右岸38.4km付近】
堤防法くずれ　L=約32m
10/14　22:00着手～
10/18　16:00進捗率　65%




## 宮城県大崎市三本木蟻ケ袋地先
【鳴瀬川 右岸38.1km付近】
堤防法くずれ　L=約40m
10/14　22:00着手～
10/18　16:00進捗率　65%

## 宮城県大崎市鹿島台大迫川北地先
【吉田川 左岸14.8km付近】 越水
堤防法くずれ　L=約40m
10/14　22:00着手～
10/18　16:00進捗率　5%
※欠損部保護完了
※排水ポンプ車の配置ヤードとして利用中




## 宮城県黒川郡大郷町粕川地先
【吉田川 左岸20.9km付近】
堤防決壊　L＝約100m
10/13 12:00着手～
10/18　16:00進捗率　30%
※仮堤防盛土完了




## 福島県須賀川市浜尾地先
【阿武隈川 左岸98.6km付近】
堤防決壊　L＝約50m
10/14　15:00着手～
10/18　17:00進捗率　30%
※仮堤防盛土完了



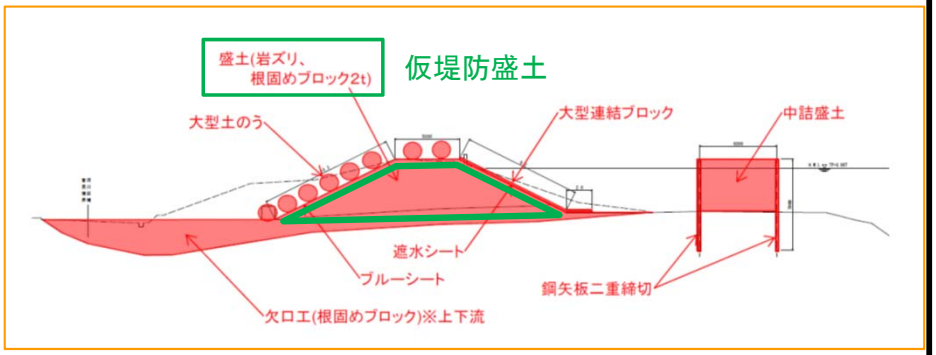
# 鳴瀬川水系吉田川　宮城県黒川郡大郷町地先（左岸20.9k）　被災～復旧状況

【被災状況】




撮影日2019.10.13　AM9時頃

【緊急復旧内容】




令和元年10月13日（日）12:00着手

2019年10月18日（金）16時00分現在




仮堤防盛土完了



鋼矢板による締切施工中

●令和元年10月18日（金） 16時現在
全体の進捗率　30%
仮堤防進捗率　100%（仮堤防盛土完了）

# 阿武隈川水系阿武隈川　福島県須賀川市浜尾地先（左岸98.6k）　被災～復旧状況

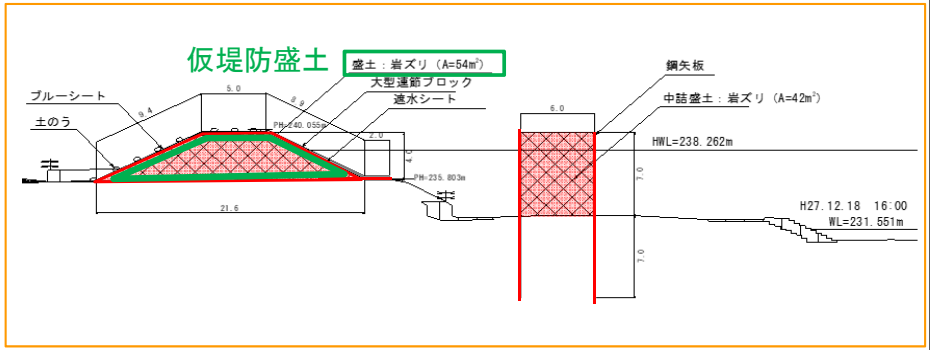
2019年10月18日（金）17時00分現在

【被災状況】




撮影日2019.10.14　AM10時頃

【緊急復旧内容】




令和元年10月14日（月）15:00着手



仮堤防盛土施工状況



仮堤防盛土完了

●令和元年10月18日（金）　17時現在
全体の進捗率　30%
仮堤防進捗率　100%（仮堤防盛土完了）

**全体**

別添資料３

# 台風19号による被災箇所図（直轄道路）
# 被災による全止め箇所（R1.10.18 16:30現在）

全面通行止中(高速道路等)

全面通行止中(直轄国道)

県別被災箇所数 一覧（路面冠水含む） （箇所）

| | | 福島県 | 宮城県 | 岩手県 | 山形県 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 高速道路等 | 全被災箇所 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| | 全面通行止め | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 直轄国道 | 全被災箇所 | 8 | 5 | １０ | 2 | ２５ |
| | 全面通行止め | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 計 | 全被災箇所 | 9 | 6 | １１ | 2 | ２８ |
| | 全面通行止め | 2 | 2 | 1 | 0 | 5 |

【国道45号】全止　10/13(日) ～
【土砂流入】宮古市宮古第3TN（明かり部）
　岩手県宮古市崎山第5地割
解除予定：10月21日目途

【国道49号】全止　10/12(土) ～
【冠水】→【橋梁下部工沈下】
　福島県郡山市田村町大善寺
解除予定：未定

【E45三沿道】全止　10/12(土) ～
【土砂崩落等】南三陸海岸IC～歌津IC
解除予定：1週間程度

【国道45号】全止　10/13(日) ～
【盛土崩落】
　宮城県石巻市相野谷～登米市津山町柳津
解除予定：10日間目途
　　（河川の水位状況により変更する場合有り）

【国道49号】全止　10/13(日) ～
【冠水】→【土砂流入】
　福島県郡山市田村町栃本
解除予定：未定

【凡例】
- 高速道路等
- 直轄国道
- ★ 全止め箇所（復旧中）
- ★ 全止め箇所（解除済み）

別添資料４

記者発表資料

台風第19号
関連

令和元年１０月１８日
東 北 地 方 整 備 局

# ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ(緊急災害対策派遣隊)が実施した被災状況調査結果を須賀川市長及び本宮市長へ最終報告します。

台風19号により甚大な被害が発生した福島県内のうち、須賀川市及び本宮市についてはTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が１０月１５日から被災状況調査を行っておりましたが、１０月１８日で調査が完了する見込みとなりましたので、調査結果を１０月１９日（土）に須賀川市長及び本宮市長へ最終報告します。

【須賀川市】
◯報告日時：令和元年１０月１９日（土）　１０：００～
◯場　　所：須賀川市役所　３階光の会議室
◯報 告 者：TEC-FORCE(北海道開発局)
◯報告内容：台風19号による須賀川市の被災状況調査結果
◯調査期間：令和元年１０月１５日(火)～令和元年１０月１８日(金)
※須賀川市におけるTEC-FORCEによる被災状況調査は完了となります。

【本宮市】
◯報告日時：令和元年１０月１９日(土)　１０：３０～
◯場　　所：本宮市市長室
◯報 告 者：TEC-FORCE(北海道開発局)
◯報告内容：台風19号による本宮市の被災状況調査結果
◯調査期間：令和元年１０月１５日(火)～令和元年１０月１８日(金)
※本宮市におけるTEC-FORCEによる被災状況調査は完了となります。

・ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ活動状況等公開アドレス
http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/saigai-info/top.html

〔発表記者先〕
福島県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】
東北地方整備局　防災対策技術分析官　森（もり）　日吉（ひよし）（内線２１２５）

住所：仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎Ｂ棟
電話：０２２－２２５－２１７１（代表）

別添資料５

緊急情報／防災情報

台風第19号
関連

令和元年１０月１８日
東北地方整備局
河川部

# 台風１９号による浸水の状況について

## ～阿武隈川の浸水が概ね解消しました～

角田市においては台風19号の豪雨で広範囲の浸水が発生したことから、国土交通省では市の要望を受け、江尻排水機場等にTEC－FORCE等の排水ポンプ車を派遣して排水活動を行っていましたが、本日早朝には必要な排水作業を完了したことから、角田市に対して排水完了報告を行いました。

これにより、阿武隈川については全域にわたって概ね浸水解消となります。

また、排水を継続している吉田川の氾濫による浸水に関しては、当初約5，700haあった浸水面積が10月17日時点の調査で約1，200haまで減少していることが確認されました。

引き続き全力を挙げて排水の促進に努めてまいります。

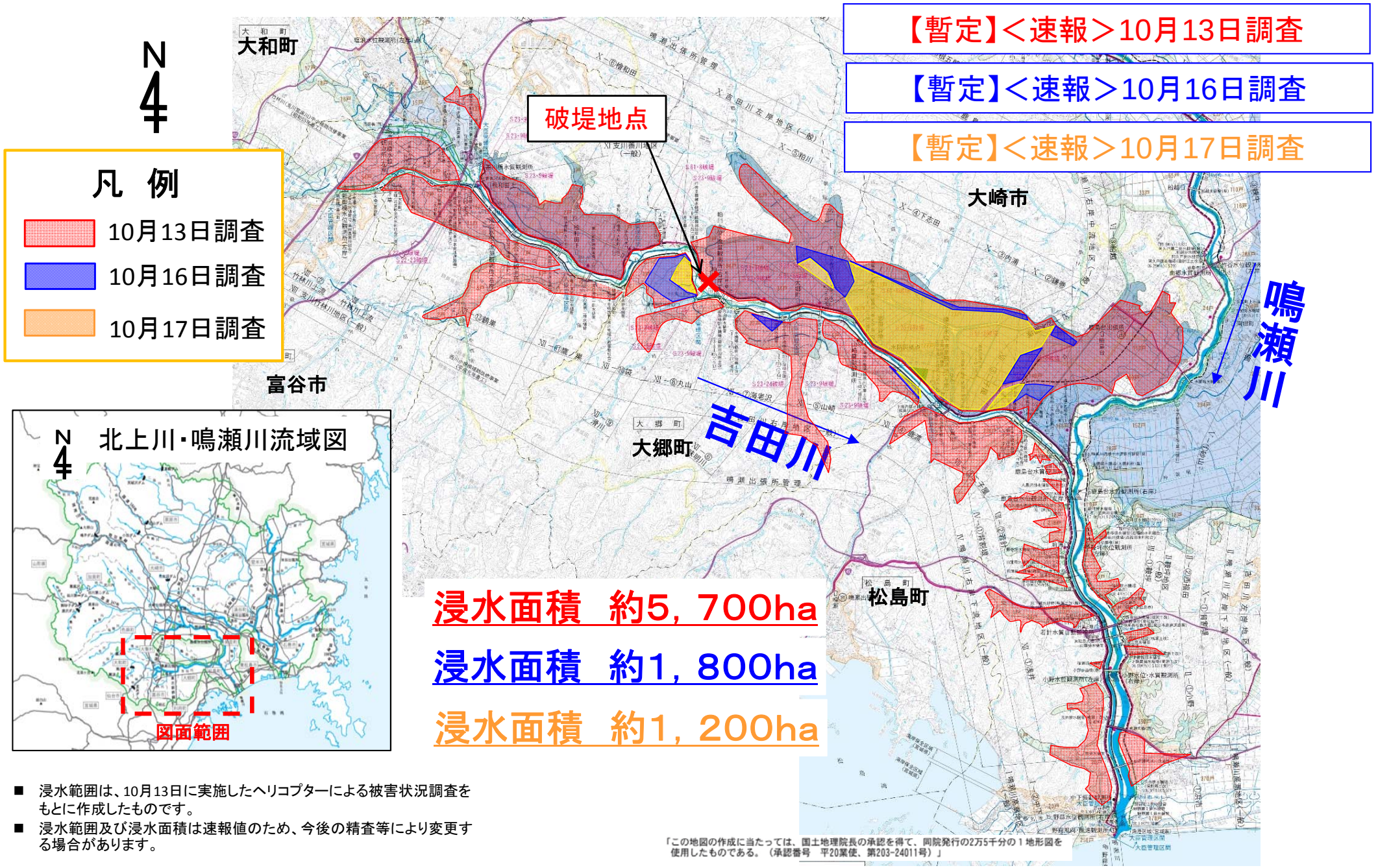
なお、台風19号後の当面の降雨に備え、排水作業の生じるおそれがある箇所の周辺等に東北地方整備局及び他の地方整備局等から応援のため派遣された排水ポンプ車を配備し、迅速な対応が可能な体制を構築しています。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞


問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
本部　仙台市青葉区本町３－３－１　TEL（022）225-2171（代表）
河川部　河川調査官　長田（ながた）　仁（ひとし）　(内線 3513)

# 台風19号による河川（鳴瀬川水系吉田川（一部、鳴瀬川含む））の被災状況




- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

# 排水ポンプ車による排水活動状況（吉田川）

令和元年10月18日

■ 家屋浸水の解消を目指し、24時間体制で28台の排水ポンプ車を派遣し排水活動を実施しています。

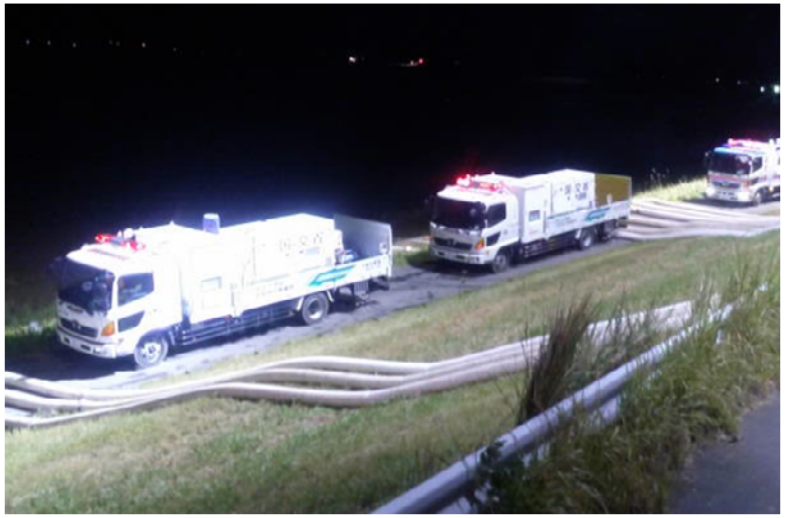
夜間排水活動状況（大崎市鹿島台）









**別添資料６**

記者発表資料

令和元年１０月１８日
東北地方整備局

# 一般国道３４９号の道路啓開を実施しています
## ～重要物流道路制度創設後、全国初の取り組み～

令和元年１０月に発生した台風１９号により、宮城県伊具郡丸森町の一般国道３４９号（宮城県管理）では、法面崩壊及び路肩決壊などの被害を受け、全面通行止めとなっています。

国土交通省では、道路法４８条の重要物流道路等の管理の特例に基づき、被災箇所の道路啓開を実施しています。

道路法４８条に基づく道路啓開は重要物流道路制度創設後、全国初の実施となります。

■一般国道３４９号の状況
被災箇所：宮城県伊具郡丸森町大張川張地内
被災状況：豪雨による法面崩壊及び阿武隈川の増水による路肩決壊

■重要物流道路制度の概要
〇平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が、物流上重要な路線を「重要物流道路」として指定。
〇災害時においては、道路啓開・災害復旧を国が代行。
〇平成３１年４月１日に、全国で重要物流道路３万５千キロ、代替・補完路１万５千キロが指定済み。
〇宮城県丸森町の国道３４９号は、代替・補完路に指定。

重要物流道路制度の概要等については以下からご確認ください
http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/butsuryu/Top03-02-03.htm

現地での啓開作業状況の取材を希望される場合は、本日１４時に丸森町役場駐車場に集合をお願いします。集合後、国土交通省の車両が先導し現地まで誘導します。

〈発表記者会〉宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】
（制度に関すること）
国土交通省　東北地方整備局　道路部　ＴＥＬ　０２２（２２５）２１７１（代表）
道路計画第一課長　舟波　昭一（内４２１１）
地域道路課長　木村　恭一（内４６１１）
（現地作業に関すること）
仙台河川国道事務所　ＴＥＬ　０２２（２４８）４１３１（代表）
副所長（道路改築）　外崎　高広（内２０５）

別添資料７

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

台風第 19 号
関 連

【同時記者発表クラブ】
宮城県政記者クラブ、東北電力記者会
東北専門記者会

令 和 元 年 １０ 月 １８ 日
水管理・国土保全局砂防部

# 土砂災害専門家（TEC－FORCE高度技術指導班）が台風第19号の大雨による土砂崩れに対する対応について支援します

令和元年１０月１３日の台風第１９号に伴う大雨によって、宮城県伊具郡丸森町で発生した土砂崩れに関して、宮城県の要請により、土砂崩れに対する対応についての技術的助言を行うため、１０月１７日から土砂災害専門家（ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ高度技術指導班）を派遣しています。このたび、１０月１８日に、丸森町長に現地調査結果を報告します。

1. 土砂災害専門家（TEC－FORCE高度技術指導班）

国土交通省 国土技術政策総合研究所 砂防研究室
室長 山越（やまこし） 隆雄（たかお）
主任研究官 坂井（さかい） 佑介（ゆうすけ）

2. 派遣日

令和元年 10 月 17 日（木）～10 月 19 日（土）（予定）

3. 派遣先

宮城県伊具郡丸森町

4. 行程

| 日付 | 時刻 | 内容 |
|---|---|---|
| 10 月 18 日 | 9:00～14:00 | 現地調査（宮城県伊具郡丸森町） |
| | 15:00～15:15 | 丸森町長との面会（丸森町役場：現地調査結果の報告等） |

※10 月 19 日の行程については、18 日の調査を踏まえて決定する見込み
※10 月 17 日に別途、上空からのヘリ調査を実施済み

5. その他

・丸森町長との面会後、丸森町役場で取材（ぶら下がり）をお受けします。
・丸森町役場では、職員の指示に従ってください。
・現地調査の際の同行は、安全面の観点からご遠慮ください。
・天候等により、予定が変わる可能性があります。


問 い 合 わ せ 先

□土砂災害専門家派遣について
国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 企画専門官 岩男 忠明、 係長 長尾 壮治
TEL：03-5253-8111（代表）、03-5253-8470（直通）（内線 36222） FAX：03-5253-1611

□TEC－FORCEについて
国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害対策室 課長補佐 立松 明憲、 係長 木村 潤爾
TEL：03-5253-8111（代表）、03-5253-8461（直通）（内線 35832） FAX：03-5253-1607

□土砂災害専門家の現地活動及び記者会見について
宮城県 土木部 防災砂防課 課長 郷右近 正紀、 技術補佐 岩渕 和彦
TEL：022-211-3232（直通） FAX：022-211-3193

国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課 課長 庄子 克実
TEL：022-225-2171（代表）（内線）3811 FAX：022-262-6690

別添資料８

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

台風第19号
関連

令和元年１０月１７日
東北地方整備局

# 記者発表資料

## 「堆積土砂排除事業」の調査を実施します！！

東北地方整備局では、国土交通省都市局と連携し令和元年台風 19 号による大雨の影響により浸水した宅地の堆積土砂被害に対して、「堆積土砂排除事業（※）」等の活用に係る堆積状況調査及び技術的支援を実施します。

（※）堆積土砂排除事業の概要については、別紙１をご参照願います。

日　時：令和元年１０月１８日（金）１０：３０～
※天候等により、予定が変わる可能性があります。
場　所：大崎市内（別紙２参照）
取　材：堆積状況調査中の取材はご遠慮願います（撮影は可）。
堆積状況調査後に報道関係の皆様による取材は可能です。




他の自治体における堆積状況調査及び技術的支援の状況

＜発表記者会＞
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会


〈 問い合わせ先 〉
国土交通省 東北地方整備局　　建政部
都市・住宅整備課長　　柳田（やなぎた）　穣（ゆたか）
電話：022-225-2171（代表）（内線6161）

# 堆積土砂排除事業の概要

別紙１

国土交通省

【機密性2】

**【事業範囲】**

市町村の市街地※1における(a)～(c)のいずれかの場合において、市町村長が①又は②を排除する事業
(他の法令により処理されるものを除く)　　【補助率１／２】

(a)堆積土砂※2の総量が30,000㎥以上
(b)一団をなす堆積土砂が2,000㎥以上
(c)50m以内の間隔で連続する土砂が2,000㎥以上

①市町村長が指定した場所に搬出集積された堆積土砂
②市町村長が公益上重大な支障があると認めて搬出集積又は直接排除された堆積土砂

※1 都市計画区域内及び同区域外の集落地(独立した家屋が10戸以上隣接)　※2 災害により発生した土砂の流入、崩壊等により堆積した異常に多量の泥土、砂礫、岩石、樹木等

